



# 大山ニュース

発行元:  
大阪府議会議員 **大山 明彦**  
〒581-0003 八尾市本町4-4-9-202  
TEL 072-999-4649  
FAX 072-999-8739  
E-mail: ooyama@komei-fu.com



## 大阪府議会9月定例会前半(9月27日~10月25日)

### 健康福祉常任委員会報告

# 大山明彦 府議会議員

## 府民の健康と安全を守る施策の充実について活発な議論を展開

大阪府議会9月定例会の前半において、大山府議会議員は健康福祉常任委員会で、福祉医療費助成制度や府立公衆衛生研究所のあり方、「障害者社会参加促進センター」「盲人福祉センター」「谷町福祉センター」の移転集約について等活発に議論を展開し、施策の充実を訴えました。主な質問は次のとおり。



### 福祉医療費助成制度の難病患者、精神障がい者への対象拡大について

「福祉医療費助成制度の精神障がい者等への対象拡大について、今まで何度も訴えてきたところだが、再構築に向けてどう検討しているのか。」との質問に対し府は「精神障がい者、難病患者へ対象を拡大するとともに、将来にわたって持続可能な制度となるよう再構築に向け検討している。」と答えた。さらに「福祉医療制度は、障がい者、ひとり親家庭、乳幼児にかかる医療の重要なセーフティネットである。再構築にあたって、受益者に新たな負担を負わせることのないように。」と強く訴えた。

### 健康危機事象への対応能力をさらに向上し、健康と生命を守れ

独立法人化を進めている大阪府立公衆衛生研究所は、大阪市立環境科学研究所と統合することになっているが、ハード・ソフト両面の機能を充実させて、さらに健康危機事象への対応能力を向上し、府民の健康と生命を守ることができる仕組みづくりを進めることを提案する。

### 「障害者社会参加促進センター」「盲人福祉センター」「谷町福祉センター」の移転新築を早期に実現

いわゆる福祉3センターについては、これまで耐震化対応やバリアフリーに課題があることを指摘し、森ノ宮地区への移転集約を早期に行うことを求めてきたが、ようやく事業として進行しはじめた。

事業の実施にあたっては、関係者からの声をしっかり聴き、大阪府の「公の施設」として、10年先も50年先も真に府民のための福祉関連情報発信、コミュニケーション支援拠点としての役割を発揮し、実用的で魅力的な施設となるようにと強く訴えた。

## 皆様の声をカタチに! 迅速な行動をモットーに!



大阪国際がんセンター(成人病センター)が完成間近、重粒子線治療施設も工事進む。



八尾空港での航空機事故発生直後、樋口衆議院議員、石川参議院議員らと現地調査を実施。大阪航空局に、さらなる安全対策を求める。



菅振町1丁目付近の横断危険箇所横断歩道を新設

#### 大山あきひこプロフィール

- ・現職3期、公明党大阪府議団副幹事長・健康福祉常任委員会委員
- ・公明党大阪府本部副幹事長・公明党大阪府本部団体渉外局長
- ・公明党河内総支部長・大阪工業大学校友会八尾柏原支部長
- ・八尾市日中友好協会参与

